

令和6年度 教職キャリア高度化センター事業報告

※この事業報告は、令和6年12月末時点で執筆されたものであり、令和7年1月以降については事業予定のものとなっていることをご承知ください。

目次

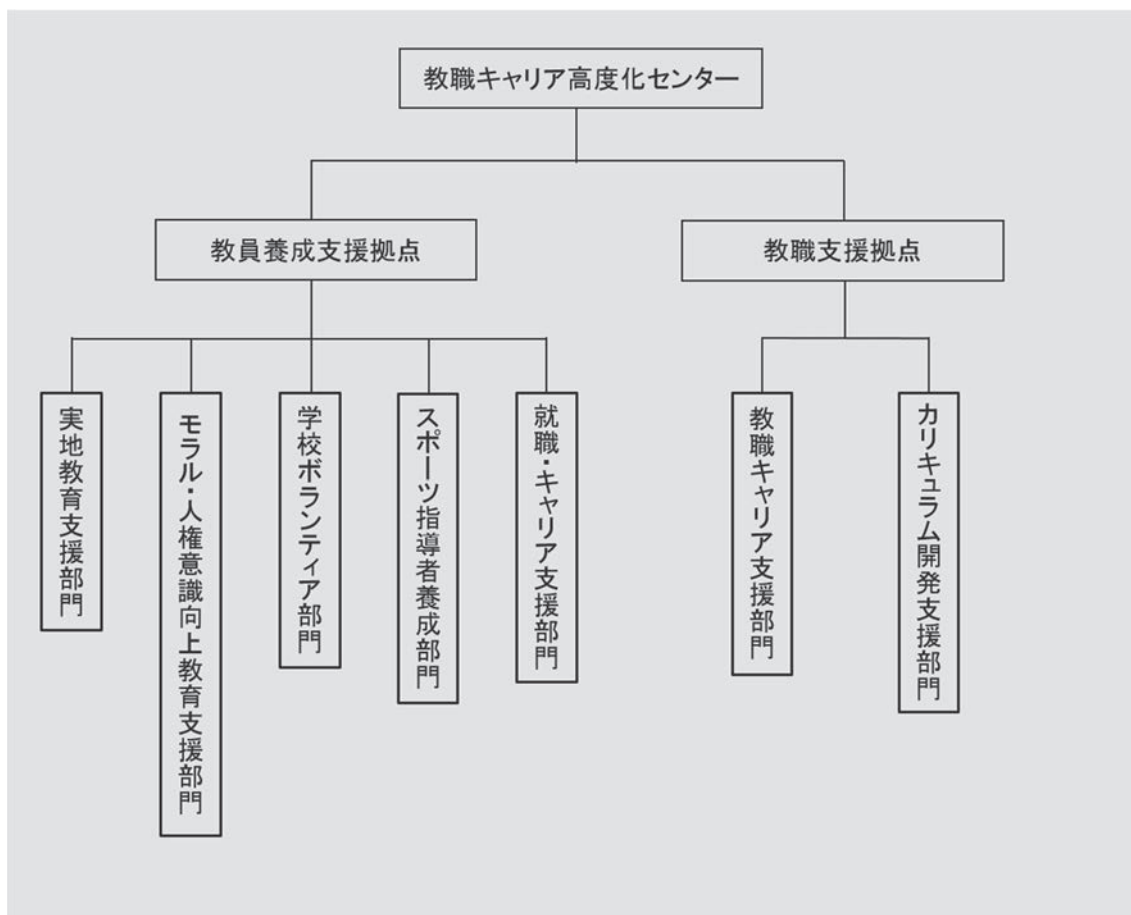
I. センター組織について	235
◇ 概要 ◇ 組織図 ◇ 構成員	
II. 活動年譜	236
III. 教員養成支援拠点における活動	239
1. 学校ボランティア事業	239
◇ 概要 ◇ ありんこクラブ・てんとうむしクラブについて	
◇ 凌風学園での取組（リーダー研修会）について	
◇ 学生のボランティア活動件数 ◇ 大学訪問受入件数	
2. スポーツ指導者養成事業	240
◇ 概要 ◇ スポーツ指導者養成事業運営委員会委員	
◇ スポーツ指導者資格取得要件 ◇ スポーツクラブ指導入門受講者数(令和6年度)	
◇ スポーツ指導者資格取得者数(令和6年12月時点)	
3. 学生への就職支援	244
◇ 概要 ◇ 相談件数	
4. スペシャリスト教職支援プログラム	245
◇ 概要	
IV. 教職支援拠点における活動	245
1. 京都府北部創生支援事業	245
◇ 概要 ◇ 支援先一覧	
◇ 京都府丹後教育局「研修サポート事業」への支援	
◇ 京都府中丹教育局「中丹マイスクールデザイン校」等への支援	
◇ 「教師を目指す高校生応援セミナー」への支援	
2. 京都市義務教育学校支援事業	250
◇ 概要	
3. 先生を究める Web 講義	251
◇ 概要 ◇ 登録者数(令和6年12月末時点)	
◇ 令和6年度制作 Web 講義コンテンツ(予定を含む)	
4. 教育委員会との連携講座	252
◇ 学校経営に関する講座 ◇ 特別支援教育に関する講座 ◇ その他	
V. 教職キャリア高度化センター共通事業	254
1. 学び続ける教員へのメッセージ	254
◇ シンポジウム ◇ 講演会	
2. 教職キャリア高度化センター教育実践研究紀要の発行	255
◇ 概要 ◇ 令和6年度掲載論文数	
VI. その他学内事業への協力	256
◇ 委員会関係 ◇ 附属学校関係	

I. センター組織について

◇ 概要

教職キャリア高度化センターは、教員養成段階から現職教員のキャリアステージに対応した支援及び支援に関する研究開発を計画・実施するため、平成30年4月に従来の教育支援センターと教職キャリア高度化センターの機能をさらに強化した新たな「教職キャリア高度化センター」として設置されました。現代的教育課題に対応した教員の養成、現職教員に対する研修プログラムの提供を行い、「教職の全体を通じて学び続ける教員」を支援することを目的としています。

◇ 組織図



◇ 構成員

センター長	原田 信一	教授
センター次長	市田 克利	教授（特命教員）
	樋口 とみ子	教授

専任教員	大久保 紀一郎	講師
	民岡 薫	准教授（特命教員）
	米澤 武史	准教授（特命教員）
	吉川 孝	教授（教職キャリア高度化センター特任教員）
	西山 由美	教授（教職キャリア高度化センター特任教員）
兼任教員	山下 和美	教授（教職キャリア高度化センター特任教員）
	榊原 禎宏	教授（教育学科）
	小山 宏之	准教授（体育学科）
	相澤 雅文	教授（総合教育臨床センター）

Ⅱ．活動年譜

4月	3日	第1回 教職キャリア高度化センター運営委員会
	22日	第2回 教職キャリア高度化センター運営委員会
5月	23日	大学訪問 京都市立西京高等学校附属中学校
	27日	第3回 教職キャリア高度化センター運営委員会
	31日	大学訪問 綾部市立何北中学校
6月	3日	教職キャリア高度化センター教育実践研究紀要 投稿依頼
	6日	大学訪問 宇治田原町立維考館中学校
	15日	京都市教育委員会連携講座 特別支援教育スキルアッププログラム
	24日	第4回 教職キャリア高度化センター運営委員会
	27日	大学訪問 宇治市立木幡中学校
	28日	大学訪問 京都市立九条中学校
	28日	第1回教職キャリア高度化センター連携事業運営会議・教職支援専門委員会合同会議
7月	24日	福知山市立豊富小学校 「中丹マイスクールデザイン校」への支援
	25日	京丹後市立宇川小学校 「研修サポート事業」への支援
	26日	京丹後市立長岡小学校 「研修サポート事業」への支援
	29日	京丹後市立久美浜小学校 「研修サポート事業」への支援
	29日	第5回 教職キャリア高度化センター運営委員会
	30日	綾部市立綾部小学校 「中丹マイスクールデザイン校」への支援
	31日	教職キャリア高度化センター教育実践研究紀要 投稿予定票提出期限
8月	1日	綾部市立何北中学校・物部小学校・志賀小学校 「中丹マイスクールデザイン校」への支援

	2日	福知山市立川口中学校・上川口小学校 「中丹マイスクールデザイン校」への支援
	2日	舞鶴市立城南中学校・池内小学校・中筋小学校・高野小学校 「中丹マイスクールデザイン校」への支援
	5日	与謝野町立のだがわこども園 「研修サポート事業」への支援
	6日	舞鶴市立加佐中学校 「中丹マイスクールデザイン校」への支援
	19日	舞鶴市立小学校研究会国語部 「中丹マイスクールデザイン校」等への支援
	19日	与謝野町立市場小学校 「研修サポート事業」への支援
	20日	京都府教育委員会連携講座 小中をつなぐ理科の見方・考え方講座 (Web+)
	20日	本学主催 学校経営に関する講座
	20日	宇治生涯学習センター 京都府総合教育センター連携事業特別支援教育出前講座
	26日	綾部市立上林小中一貫校 「中丹マイスクールデザイン校」への支援
	26日	第6回 教職キャリア高度化センター運営委員会
	28日	与謝野町立三河内小学校 「研修サポート事業」への支援
9月	2日	与謝野町立のだがわこども園 「研修サポート事業」への支援
	3日	大学訪問 京都市立洛北中学校
	11日	京丹後市立長岡小学校 「研修サポート事業」への支援
	18日	与謝野町立市場小学校 「研修サポート事業」への支援
	26日	第7回 教職キャリア高度化センター運営委員会
	27日	京都府教育委員会連携講座 「発達障害のある児童生徒理解」講座
	30日	教職キャリア高度化センター教育実践研究紀要 投稿原稿提出期限
10月	2日	舞鶴市立加佐中学校 「中丹マイスクールデザイン校」への支援
	9日	京丹後市立長岡小学校 「研修サポート事業」への支援
	11日	大学訪問 門真市立門真はすはな中学校
	16日	舞鶴市立加佐中学校 「中丹マイスクールデザイン校」への支援
	18日	大学訪問 宇治市立広野中学校
	21日	綾部市立小中教務主任会 「中丹マイスクールデザイン校」等への支援
	23日	福知山市立豊富小学校 「中丹マイスクールデザイン校」への支援
	25日	第8回 教職キャリア高度化センター運営委員会
	26日	京都市教育委員会連携講座 特別支援教育スキルアッププログラム
	27日	教師を目指す高校生応援セミナー

11 月	2 日	学び続ける教員へのメッセージ 「これからの教育（令和の日本型学校教育）と教師に求められる資質能力」 シンポジウム 学習者主体の授業づくりから学ぶ、個別最適で協働的な授業のつくり方
	7 日	大学訪問 京都市立久世中学校
	27 日	京丹後市立長岡小学校 「研修サポート事業」への支援
	29 日	第9回 教職キャリア高度化センター運営委員会
12 月	20 日	中丹教育局通級指導教室担当者交流会 「中丹マイスクールデザイン校」等への支援
	20 日	第10回 教職キャリア高度化センター運営委員会
	24 日	本学主催 学校経営に関する講座
	25 日	本学主催 学校経営に関する講座
1 月	15 日	京丹後市立長岡小学校 「研修サポート事業」への支援
	15 日	与謝野町立市場小学校 「研修サポート事業」への支援
	22 日	福知山市立豊富小学校 「中丹マイスクールデザイン校」への支援
	22 日	綾部市立上林小中一貫校 「中丹マイスクールデザイン校」への支援
	27 日	大学訪問 京丹後市立網野中学校
	31 日	第11回 教職キャリア高度化センター運営委員会
2 月	4 日	綾部市立綾部小学校 「中丹マイスクールデザイン校」への支援
	12 日	福知山市立小学校研究会国語部 「中丹マイスクールデザイン校」等への支援
	13 日	大学訪問 城陽市立東城陽中学校
	18 日	与謝野町立のだがわこども園 「研修サポート事業」への支援
	21 日	京丹後市立久美浜小学校 「研修サポート事業」への支援
	28 日	第12回 教職キャリア高度化センター運営委員会
3 月	4 日	与謝野町立のだがわこども園 「研修サポート事業」への支援
	8 日	学び続ける教員へのメッセージ 「これからの教育（令和の日本型学校教育）と教師に求められる資質能力」 講演会 学習者主体の授業づくりの理論と実践
	28 日	第13回 教職キャリア高度化センター運営委員会

Ⅲ. 教員養成支援拠点における活動

1. 学校ボランティア事業

◇ 概要

大学入学後の早い段階から、教育実習とは異なる側面から子どもたちや学校教員と接する機会を多く持ち、教育現場をより多面的により深く知ること、教員としてスムーズにスタートできるように学校ボランティア活動を推進している。1回生前期の必修科目「KYOKYO スタートアップセミナー」において、学校ボランティア活動の意義、ボランティアオフィスの紹介、学校ボランティアの単位認定制度、活動を行う上で留意すべき点などについて学校ボランティアハンドブックを用いて解説、併せて全学生のボランティア登録を行う。なお、1回生に全員配付している学校ボランティアハンドブックを一昨年度改訂した。また、学校ボランティア説明会を例年年度初めに2回開催し、学校ボランティア経験者や学校ボランティアを募集している教育委員会の話を聞く機会を設けて、学校ボランティアへの動機づけを行っている。本年度の説明会については、第1回、第2回を共に4月に開催した。

学校園でのボランティアを希望する学生に対して、そのニーズに即した校種・地域の学校の紹介や、学生と学校園とのコーディネート業務をボランティアオフィスで行っている。

小学校・中学校が児童生徒のキャリア形成の一環として行っている大学訪問の受入では、本学の学生が児童生徒に京都教育大学の魅力を伝える活動を行い、児童生徒が将来を考えるときのヒントとなるよう手助けを行っている。令和6年度の受入は11校の予定で、昨年度より3校増加している。訪問する中学生も265名、昨年度より114名増加している。

◇ ありんこクラブ・てんとうむしクラブについて

ありんこクラブは、京都市立竹田小学校の低学年の児童をおよそ年5回程度集めて、いろいろな遊びや校外学習を行っている。全て学生が企画立案して行っている活動である。令和6年度はありんこクラブについては5月から活動を行っている。てんとうむしクラブについては、令和元年度まで京都市立南大内小学校の児童をおよそ年5回程度集めて、いろいろな遊びや校外学習を行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を見合わせていた。ただ、令和7年2月に京都市立深草小学校の児童を対象に取組を再開する。

◇ 凌風学園での取組（リーダー研修会）について

毎年夏休みに、京都市立凌風学園（義務教育学校）の7年～9年の生徒会のメンバーが「よりよい学園をつくろう」という目標のもとリーダー講習会に参加している。

令和6年度も7月頃に行うように日程調整したが、うまく調整できず見送ることになった。

◇ 学生のボランティア活動件数（令和5年度）

	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	義務教育学校、中等教育学校	その他②※	計
1回生	1	28	6	11	1	0	0	47
2回生	2	34	13	8	1	1	0	59
3回生	2	91	30	14	14	1	2	154
4回生	7	54	25	8	9	2	0	105
その他①※	0	14	17	2	1	9	0	43
計	12	221	91	43	26	13	2	408

※その他①は、5回生以上、院生、特専等 ※その他②は、福祉施設、るり溪キャンプ等

◇ 大学訪問受入件数（令和6年度）

	日付	学校名	受入人数	ボランティア学生数
1	5月23日	京都市立西京高等学校附属中学校	23	3
2	5月31日	綾部市立何北中学校	14	2
3	6月6日	宇治田原町立維考館中学校	12	2
4	6月27日	宇治市立木幡中学校	35	4
5	6月28日	京都市立九条中学校	10	2
6	9月3日	京都市立洛北中学校	38	4
7	10月11日	門真市立門真はすはな中学校	35	4
8	10月18日	宇治市立広野中学校	40	3
9	11月7日	京都市立久世中学校	18	2
10	1月27日	京丹後市立網野中学校	20	3
11	2月13日	城陽市立東城陽中学校	20	3
計			265	32

2. スポーツ指導者養成事業

◇ 概要

本学の関連団体である京都教育大学地域スポーツクラブ（KYO²クラブ）では、小学

生に対して4種目のスポーツ教室（陸上・体操・バスケットボール・サッカー）を開催している。本事業では、その環境を活かして、授業科目とKYO²クラブでのインターンシップを組み合わせたプログラムを実施している。このプログラムでは、子どもたちへの運動指導力を基盤として、集団をまとめる力、コミュニケーション力、子ども理解を含め、教員としての総合的な力を養成し、プログラムを終了した学生には大学独自の資格である「スポーツ指導者資格」を認定している。

なお、本プログラムでは4名の小学校、中学校、高等学校での豊富な運動経験を有する退職教員を客員教授として招聘し、学生の指導にあたっている。

- ・客員教授 福田 晴也（元京都府立高等学校教諭）
- 山中 博史（元滋賀短期大学教授）
- 和田 英明（元京都市立小学校教諭）
- 亀井 正之（元大阪府立中学校・小学校教諭）

◇ スポーツ指導者養成事業運営委員会委員

（京都教育大学スポーツ指導者養成事業運営委員会規程第2条）

- 第一号委員 相澤 伸幸（教務・学生指導担当理事・副学長）
- 第二号委員 小山 宏之（教職キャリア高度化センター兼任教員・体育学科准教授・委員長）
- 第三号委員 小松崎 敏（体育学科教授・副委員長）
- 谷口 和成（理学科教授）
- 檜下 達也（音楽科准教授）

◇ スポーツ指導者資格取得要件

本スポーツ指導者資格は（基礎）および（上級）の2つの資格からなる。資格認定要件は学生の所属専攻によって決まり、体育領域専攻と体育領域専攻以外に分けて設定している。なお、いずれの資格も①「大学授業の単位取得」、②「KYO²クラブにおける指導実習の実施」、③「日本スポーツ協会公認指導者資格・スポーツコーチングリーダーの取得（上級のみ）」のカリキュラムを全て修了することで認定される。

①大学授業

下表は本資格の取得に必要な授業であり、所属専攻および取得を希望する資格（基礎または上級）によって異なる授業を設定している。

・スポーツ指導者資格（基礎）に係る単位

対象	科目
体育領域専攻	スポーツクラブ指導入門

対象	科目
体育領域専攻以外	スポーツクラブ指導入門
	初等体育科教育
	小学校教科内容論体育
	子どもの健康と身体形成

・スポーツ指導者資格（上級）に係る単位

対象	科目
体育領域専攻 (令和2年度以降入学)	スポーツクラブ指導入門
	初等体育科教育
	発育発達論
	体育・スポーツ指導者論
	スポーツ情報論
	スポーツ医学
	運動学
	スポーツ心理学
	教育実習

対象	科目
体育領域専攻 (平成28年度～ 平成31年度入学)	スポーツクラブ指導入門
	初等体育科教育
	発育発達論
	体育・スポーツ指導者論
	体育実技指導実習またはスポーツ指導実習から 1科目選択
	陸上競技
	器械運動
	バレーボール、サッカー、バスケットボール、水 泳、テニス、武道、ダンス、ベースボール型球技 から1科目選択
	教育実習

対象	科目
体育領域専攻以外 (令和2年度以降入学)	スポーツクラブ指導入門
	初等体育科教育
	子どもの健康と身体形成
	小学校教科内容論体育
	スポーツ医学
	教育実習

対象	科目
体育領域専攻以外 (平成31年度以前入学)	スポーツクラブ指導入門
	初等体育科教育
	子どもの健康と身体形成
	小学校教科内容論体育
	陸上競技、器械運動、バレーボール、サッカー、バスケットボール、水泳、テニス、武道、ダンスから1科目選択
	教育実習

②KYO²クラブにおける指導実習の実施

大学授業「スポーツクラブ指導入門」履修後に、学生を4つのスポーツ教室のいずれかに配属し、二段階の指導実習である「インターンシップⅠ（5回程度）」、「インターンシップⅡ（7回程度）」を実施する。

③日本スポーツ協会公認指導者資格の取得（上級のみ）

スポーツ指導者資格（上級）を希望するものは、日本スポーツ協会公認指導者資格「スポーツコーチングリーダー」の資格を取得する必要がある。体育領域専攻の学生は、指定科目の単位取得に加えて、オンラインテストに合格することで資格を取得できる。体育領域専攻以外の学生は認定講習会を受講する必要がある、スポーツ指導者養成事業において学内を会場として年1回の講習会を開催している。

◇ スポーツクラブ指導入門受講者数（令和6年度）

	体育領域 専攻	体育領域 専攻以外	計
1回生	15	6	21
2回生	0	2	2
3・4回生	0	0	0
計	15	8	23

◇ スポーツ指導者資格取得者数（令和6年12月時点）

	体育領域 専攻	体育領域 専攻以外	計
基礎	12	2	14
上級	0	0	0
計	12	2	14

3. 学生への就職支援

◇ 概要

3回生の後期から教職キャリア実践論を開講し、採用試験対策も兼ねた教師力養成として、教員に求められる資質能力や現代的教育課題等について協議を通して理解を深める指導を実施してきた。4回生の前期には、それを継続させた形で教採対策総合セミナー、小論文対策セミナー、直前セミナーを開催し、学生の志望自治体に応じ、模擬授業、個人・集団面接、集団討論、小論文を中心に教員採用試験対策を行った。なお令和6年度から3回生も受講可能とし、3回生受験対策もしている。また採用試験直前期には、個別の面接指導、模擬授業対策等の要望にも応じている。

また、公立学校インターンシップの受講希望者に対して、公立学校現場における実地指導を行い、その中で、京都府教師力養成講座の受講希望者に対しては、エントリーシート の書き方指導、小論文指導、個人面接指導を行った。

公立学校訪問演習や教員インターン実習にあたっては、演習受け入れ校との調整を行い、将来、教職への就職意欲が高まるよう指導支援にあたっている。

地域指定推薦入学者に対する支援として、志望状況の確認や情報提供のための面談を実施した。令和3年度から地域指定推薦のA要件に加え、B要件での入学者に対しても行っており、今後も継続して実施する方向である。

昨年度より、教員採用試験早期化受験に対応するため、2回生を対象に「2回生教採ナ

ビ」を実施しているが、今年度は10月～1月にかけて計5回実施した。ここでは、志願書（エントリーシート）記入・面接対策・模擬授業、筆記試験対策など、教職キャリア実践論の講義内容を盛り込んだ形で教員採用試験対策を行った。なお3回生受験ができる自治体数が大幅に増えたこともあり、受講人数は昨年度8名であったが、今年度は70名に激増した。

◇ 相談件数（令和5年10月から令和6年9月までの延べ件数）

相談内容	件数
エントリーシート・小論文指導	125
個人面接指導	467
集団討論・集団面接指導	31
模擬授業対策	105
地域指定推薦入学者面談	61
その他	191
合 計	980

4. スペシャリスト教職支援プログラム

◇ 概要

スペシャリスト教職支援プログラムとは、教員免許状をもたない採用内定者を主な対象とする研修プログラムである。具体的には、京都府教育委員会の教員採用試験において、特定分野の教科専門性が優れており「教員免許状を有していないが特別免許状の授与要件を満たす者」として採用の内定した者、またそれに準ずる者を対象としている。

プログラム内容は、①教育課程の編成実施、②生徒指導・学級経営、③発達障害の理解と対応、④学校経営・学校組織に関連するものとし、必要に応じて、⑤教科等の指導方法を開講している。

IV. 教職支援拠点における活動

1. 京都府北部創生支援事業

◇ 概要

京都府下における「教員養成」と「教員研修」のリージョナルセンターとして、京都府教育委員会と協働した、京都府北部地域における人材育成に資する「京都府北部創生支援事業」を展開している。

令和6年度もこれまでに引き続き、丹後教育局及び中丹教育局管内の小・中学校等を対象に支援を行っている。具体的には、丹後教育局が指定する「研修サポート事業」

指定校、中丹教育局が指定する「中丹マイスクールデザイン校」の実践研究に資する校内研修等を実施した。

丹後教育局の事業へは、「学びに向かう力」「特別支援教育の在り方」「幼児児童生徒の見方・捉え方」というテーマについて、教科指導や発達の観点等から支援することとした。小学校5校、こども園1園が指定された。

中丹教育局の事業へは、『学びに向かう力』の育成』『ことばの力』の育成』『特別支援教育の充実』というテーマについて支援することとした。小学校2校、中学校1校、中学校ブロック4ブロック（11校）が指定された。

なお、「対話する研修」については、「省察」をより焦点化して実施し、継続校はグループ省察会につないでいる。

北部支援の一環として、中丹教育局主催、京都教育大学共催の「教師を目指す高校生応援セミナー」へ大学生を派遣した。大学生にとっては、若手現職教員の実践から学び、高校生との交流で教職への意欲を高める機会となった。

◇ 支援先一覧

		実施校・園等	延べ回数	実施日
1	丹後教育局管内	京丹後市立長岡小学校	1	7月26日（金）
			2	9月11日（水）
			3	10月9日（水）
			4	11月27日（水）
			5	1月15日（水）
2		京丹後市立宇川小学校	6	7月25日（木）
3		京丹後市立久美浜小学校	7	7月29日（月）
			8	2月21日（金）
4		与謝野町立三河内小学校	9	8月28日（水）
5		与謝野町立市場小学校	10	8月19日（月）
			11	9月18日（水）
			12	1月15日（水）
6		与謝野町立のだがわこども園	13	8月5日（月）
			14	9月2日（月）
			15	2月18日（火）
			16	3月4日（火）
7	中丹	綾部市立綾部小学校	17	7月30日（火）
			18	2月4日（火）

8	教育局管内	福知山市立上豊富小学校	19 20 21	7月24日(水) 10月23日(水) 1月22日(水)
9		舞鶴市立加佐中学校	22 23 24	8月6日(火) 10月2日(水) 10月16日(水)
10		綾部市立上林中学校・上林小学校 (上林小中一貫校)	25 26	8月26日(月) 1月22日(水)
11		綾部市立何北中学校・物部小学校・志賀小学校	27	8月1日(木)
12		福知山市立川口中学校・上川口小学校	28	8月2日(金)
13		舞鶴市立城南中学校・池内小学校・中筋小学校・高野小学校	29	8月2日(金)
14		中丹教育局通級指導教室担当者交流会	30	12月20日(金)
15		綾部市小中教務主任会	31	10月21日(月)
16		福知山市立小学校研究会国語部	32	2月12日(水)
17		舞鶴市立小学校研究会国語部	33	8月19日(月)

◇ 京都府丹後教育局「研修サポート事業」への支援

1 京丹後市立長岡小学校

研究テーマ 対話を通してつながり合い、深い学びに向かう児童の育成
担当教員 植山 俊宏(国文学科教授)

2 京丹後市立宇川小学校

研究テーマ 支援を要する児童への支援について
担当教員 鈴木 英太(総合教育臨床センター講師)

3 京丹後市立久美浜立小学校

研究テーマ 主体的に課題を持ち探求できる児童の育成
担当教員 大久保 紀一郎(教職キャリア高度化センター講師)

4 与謝野町立三河内小学校

研究テーマ 主体性を引き出すための授業改善の視点
担当教員 赤松 大輔(教育学科講師)

5 与謝野町立市場小学校

研究テーマ つながりを深め、主体的に学び、たくましく生きる児童の育成

担当教員 大久保 紀一郎（教職キャリア高度化センター講師）

6 与謝野町立のだがわこども園

研究テーマ 心身ともに健康で、豊かな人間性をもち、いっぱい遊ぶ子ども

担当教員 平井 恭子（幼児教育科教授）

角田 豊（連合教職実践研究科（京都産業大学）教授）

◇ 京都府中丹教育局「中丹マイスクールデザイン校」等への支援

7 綾部市立綾部小学校

研究テーマ *Enjoy!* 算数

担当教員 黒田 恭史（数学科教授）

8 福知山市立上豊富小学校

研究テーマ 主体的・対話的で深い学びを実現させる国語科の授業研究

担当教員 植山 俊宏（国文学科教授）

9 舞鶴市立加佐中学校

研究テーマ 読解力の向上による質の高い学力を育成する

担当教員 植山 俊宏（国文学科教授）

10 綾部市立上林中学校・上林小学校（上林小中一貫校）

研究テーマ 学びに向き合い続けられる児童生徒の育成

担当教員 赤松 大輔（教育学科講師）

11 綾部市立何北中学校・物部小学校・志賀小学校（何北中学校区研究会）

研究テーマ 中学校卒業時に自分の夢に向かって未来を切り拓く児童生徒の育成

担当教員 植山 俊宏（国文学科教授）

12 福知山市立川口中学校・上川口小学校（川口中学校区研究会）

研究テーマ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた課題解決型の学習の研究

担当教員 谷口 和成（理学科教授）

13 舞鶴市立城南中学校・池内小学校・中筋小学校・高野小学校(城南中学校区研究会)

研究テーマ 教育のユニバーサルデザイン化

～すべての子にとって過ごしやすい学校づくり～

担当教員 鈴木 英太(総合教育臨床センター講師)

14 中丹教育局通級指導教室担当者交流会

テーマ 通級による指導の充実と通常の学級との連携のあり方

担当教員 鈴木 英太(総合教育臨床センター講師)

15 綾部市小中教務主任会

テーマ カリキュラムマネジメントの実際

担当教員 西山 由美(教職キャリア高度化センター教授)

16 福知山市小学校研究会国語部

テーマ 主体的・対話的で深い学びを実現させる国語科の授業について

担当教員 植山 俊宏(国文学科教授)

17 舞鶴市小学校研究会国語部

テーマ ことばの力を高め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた国語科の授業改善

担当教員 植山 俊宏(国文学科教授)

◇ 「教師を目指す高校生応援セミナー」への支援

日程 令和6年10月27日(日) 13:30～16:00

場所 京都府総合教育センター北部研修所

概要 当セミナーは中丹教育局が主催し、京都府北部地域における教師の魅力発信や人材の確保に向けた取組として実施されており、本学は共催として取り組んだ。

令和5年度に続き2回目となる。丹後教育局管内の高等学校出身の学生の希望もあり、令和6年度は丹後教育局管内の高等学校へも案内をし、中丹地域及び丹後地域にある公立・私立の高等学校から生徒27名の参加があった。

「私が感じる教師の魅力」、「教師の魅力について ～これまでの いまの これからの「私」～」と題して2名の若手教員の講話、本学教員による「教師になるには ～大学での学びや大学生活について～」という講話、本学4回生による「先輩からのエール」、グループ交流という内容で実施した。

本学からは府北部地域から来ている学生18名が参加し、エールを伝えたりグループ交流の中で高校生の質問に応えたりして交流を深めた。高校生の相談の機会

というだけでなく、大学生にとっても教職への志望を強くする機会となった。

2. 京都市義務教育学校支援事業

◇ 概要

京都市教育委員会と本学間で「小中一貫校の開校に関する連携・協力」の覚書が平成29年度に締結された。この覚書に基づき、令和7年度に義務教育学校として開校予定の2校の教育企画新推進室長と懇談し、開校準備の進捗状況を共有するとともに、求めに応じて相談を進めてきた。京都市でも開校の準備が滞っていたこともあり、研究者による学校支援等、適切な支援が行えなかった。

また、本学が組織する義務教育学校懇談会に参加する学校や自治体等に対して情報発信と共有を行ってきたが、今年度は義務教育学校懇談会を開催することができなかった。

覚書が締結されてから7年が経過し、京都市でも義務教育学校10校の開校にかかる要領を蓄積してきた。またそれぞれの地域事情により「義務教育学校」と一括りにすることができず、求められるところに十分応えられているとは言い難い。今後も義務教育学校への移行が行われる予定になっているものの、開校までには期間があり、この支援事業のあり方についても改めて考える時期を迎えている。

3. 先生を究める Web 講義

◇ 概要

現職教員の資質・能力向上を目指し、自宅や職場で大学院レベルの講義を受講できるように実施している事業である。Web 講義コンテンツ数は、配信初年度(平成 25 年度)の 7 本から数を重ね、令和 6 年 12 月末段階で 122 本となっている。現代的教育課題、教育の基礎理論、教科専門、教科教育等に関する内容を 45 分程度で視聴するコンテンツの体系化を図り、教員育成指標とも連動させた活用方法を模索するとともに、10 分程度で授業や生徒指導等のポイントを掴めるミニコンテンツ作成の取り組みも行っている。令和 7 年度からは配信システムの YouTube への移行を計画しており、令和 6 年度は移行に向けて準備を行った。

◇ 登録者数(令和 6 年 12 月末時点)・・・ 2,786 名

◇ 令和 6 年度制作 Web 講義コンテンツ(予定を含む)

	コンテンツ名	担当講師
1	心理学から考える非認知的能力と学習～動機づけと自己調整能力を中心に～(既存動画の更新)	田爪 宏二 (教育学科教授)
2	「情報 I」では高校生に何を伝えることを大事にして、どう教えるのか	山田 公成 (附属高等学校主幹教諭)
3	「自律」と「協働」を育む学級づくり(仮)	若松 俊介 (附属桃山小学校主幹教諭)
4	「学び続ける教員へのメッセージ」シンポジウム動画	

4. 教育委員会との連携講座

◇ 学校経営に関する講座

・ 京都府教育委員会

	実施日時	講座名	担当教員
1	6月11日(火) 13:30~17:00	ミドルリーダー養成講座シリーズⅠ	浅野 良一 (兵庫教育大学大学院特任教授)
2	9月9日(月) 13:30~17:00	ミドルリーダー養成講座シリーズⅡ	大林 正史 (鳴門教育大学准教授)
3	6月18日(火) 13:30~17:00	学校組織マネジメント特別講座シリーズⅠ	水本 徳明 (同志社女子大学特任教授)
4	11月18日(月) 13:30~17:00	学校組織マネジメント特別講座シリーズⅢ	大野 裕己 (兵庫教育大学教授)

・ 本学が実施する講座

	実施日時	講座名	担当教員
☆1	8月20日(火) 13:30~17:00	学校経営と教育法規	竺沙 知章 (連合教職実践研究科教授)
2	12月24日(火) 13:30~16:30	リーガルマインドのための実践演習	仲谷 仁志 (神戸あかり法律事務所弁護士) 竺沙 知章 (連合教職実践研究科教授)
3	12月25日(水) 13:30~16:30	カリキュラムマネジメントと学校財務のための実践演習	風岡 治 (愛知教育大学教授) 竺沙 知章 (連合教職実践研究科教授)

※ 会場 …… 京都教育大学 (☆印は京都府総合教育センター北部研修所)

◇ 特別支援教育に関する講座

・京都府教育委員会

	実施日時	講座名・担当教員		受講者数
1	9月27日(金) 13:30~17:00	子どもの視点に立つこと から始める支援づくり ～愛着と発達特性の 視点から～ 榊原 久直 (総合教育臨床センター講師)	医療と連携した生涯に渡 る一貫した支援 小谷 裕実 (発達障害学科教授)	122名

※ 会場・・・キャンパスプラザ京都

上記の他、出前講座として次のとおり実施した。

	実施日時	講座内容	担当教員	実施場所
1	8月20日(火) 10:00~12:00	講義：インクルーシブ 教育の理解と授業づく り	相澤 雅文 (総合教育臨床 センター教授)	宇治生涯学習セ ンター

・京都市教育委員会

○特別支援教育スキルアッププログラム

	実施日時	講座名・担当教員		受講者数
1	6月15日(土) 10:30~12:00	通常の学級における 支援	鈴木 英太 (総合教育臨床センター講師)	41名
2	10月26日(土) 10:30~12:00	愛着理論に基づく保 護者理解とその支援	榊原 久直 (総合教育臨床センター講師)	46名
3	Web 講義研修 オンデマンド配信	集団適応の難しい児 童生徒の理解と支援	相澤 雅文 (総合教育臨床センター教授)	

◇ その他

○小中をつなぐ理科の見方・考え方講座(Web+)

京都府教育委員会と協働して、次のとおり小・中学校教員の理科指導力向上のための研修を実施した。

本講座は、事前学習として先生を究めるWeb講義に掲載している「科学的思考力をはぐくむ理科授業」講義動画(約130分)を視聴した後、その模擬授業を体験、意見交換をとおした授業づくりをグループ学習するものとなっている。

	実施日時	講座名	担当教員
1	8月20日(火) 13:30~17:00	小中をつなぐ理科の見方・ 考え方講座(Web+)	谷口 和成 (理学科教授)

V. 教職キャリア高度化センター共通事業

1. 学び続ける教員へのメッセージ

昨年度に引き続き、令和3年1月に出された中央教育審議会答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」を踏まえたシンポジウム・講演会を実施した。

◇ シンポジウム

テ ー マ

『これからの教育（令和の日本型学校教育）と教師に求められる資質能力』
ー学習者主体の授業づくりから学ぶ、個別最適で協働的な授業のつくり方ー

日 時 令和6年11月2日(土) 14:00~16:30

場 所 本学(対面)

参加者数 51名

概 要 令和3年1月中央教育審議会答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させていくことが求められている。そこで、授業において両者を結び付ける際の「学習者主体」という考え方について、具体的な取り組み事例を踏まえ、多角的に理解を深める機会の提供として、シンポジウムを行った。

前半部分ではシンポジスト発表として、メディア教育や特別支援教育、教育現場での実践といった視点から情報提供をいただいた。後半部分では参加者が意見を書き込めるチャットツールを用いて寄せられた質問に答えながら、シンポジストそれぞれの知見から対談と意見交流を行った。

参加者から多く寄せられた指導助言の際に意識していることや個別最適な授業に関する質問について、各シンポジストから返答をいただき、より現場での実践に焦点をあて、「学習者主体」という考え方について理解を深める場となった。

シンポジスト 大松 有香(京都市立藤城小学校教諭)

若松 俊介(京都教育大学附属桃山小学校主幹教諭)

鈴木 英太(京都教育大学総合教育臨床センター講師)

大久保 紀一郎（京都教育大学教職キャリア高度化センター講師）
コーディネータ 樋口 とみ子（京都教育大学教職キャリア高度化センター教授）

◇ 講演会

テ ー マ

『これからの教育（令和の日本型学校教育）と教師に求められる資質能力』
ー学習者主体の授業づくりの理論と実践ー

日 時 令和7年3月8日（土）14：00～16：00

場 所 本学（対面）

参加者数 200名程度予定

概 要 令和3年1月に中央教育審議会から『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」が答申され、そこでは、「一人一人の子供を主語にする学校教育の目指すべき姿」として、「主体的・対話的で深い学び」の重要性が指摘されている。

この講演会では、学習者の視点や感覚を大事にしながら、教師がどのように自身の実践や互いの実践から学び合えるかを追究されている研究者を招き、グループワークなども取り入れながら、学習者主体の授業づくりについて具体的に考えていく。

講 師 渡辺 貴裕（東京学芸大学教職大学院准教授）

2. 教職キャリア高度化センター教育実践研究紀要の発行

◇ 概要

本紀要は、京都教育大学に所属する教員やその他の研究者による教育実践に関する研究成果をひろく学内外に公開することを主な目的としている。紀要の編集は教職キャリア高度化センター教育実践研究紀要編集委員会が行っている。筆頭著者として論文を投稿できるのは、京都教育大学の教員、大学院生、研究生、および本センター研究員（教員、大学院生については、退職者および修了者を含む）である。発行は原則として年1回としている。

◇ 令和6年度掲載論文数・・・ 25本

VI. その他学内事業への協力

◇ 委員会関係

- ・実地教育運営委員会委員への選出 . . . 4名
市田 克利 教授、民岡 薫 准教授、米澤 武史 准教授、大久保 紀一郎 講師
- ・総合的学習・生活科教育運営委員会委員への選出 . . . 2名
樋口 とみ子 教授、大久保 紀一郎 講師
- ・就職対策委員会委員への選出 . . . 2名
民岡 薫 准教授、米澤 武史 准教授
- ・人事委員会への選出 . . . 1名
樋口 とみ子 教授
- ・附属学校長候補適任者選定委員会への選出 . . . 1名
市田 克利 教授
- ・ハラスメント防止委員会への選出 . . . 1名
市田 克利 教授
- ・6年制教員養成高度化コース運営委員会への選出 . . . 1名
樋口 とみ子 教授
- ・地域連携・広報委員会への選出 . . . 1名
大久保 紀一郎 講師
- ・人権委員会への選出 . . . 1名
市田 克利 教授

◇ 附属学校関係

- ・大学と附属高等学校の連携事業「大学教員による、高校生のための専門講座」
日 時 令和7年2月18日(火) 13:30~15:30
場 所 京都教育大学藤森キャンパス
テ ー マ 現在の教育に求められていること～先生の立場になって考える～
講 師 民岡 薫